

本津波浸水想定区域図は、北海道が津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づき設定した「津波浸水想定」のうち、小樽市域の津波浸水想定区域を詳細に明示するため、小樽市域を拡大表示するとともに、津波避難場所や官公署、公園、鉄道駅等の地物を追記したものです。

**[留意事項]**

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を設定するものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水域以外でも浸水する可能性があります。
- 津波シミュレーションは、メッシュサイズを10mメッシュで実施しているため、堤防などにある狭い開口部や小さな河川や水路などの詳細な微地形は反映されないなど、必ずしも現況地形と一致するものではありません。そのため、浸水しないと予測された地域であっても、実際には浸水する可能性があります。また、浸水域や浸水深等は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- この津波浸水想定では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深等は、避難を中心とした津波防災地域づくりを進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないことにご注意ください。
- 地震の震源が想定より陸域に近いなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間よりも早く津波が来襲する可能性があります。
- 海岸線における津波影響開始時間、第一波到達時間、最大津波到達時間を表示しています。
- 一級河川や一部の都市部以外の航空レーザ測量のデータがない地域では、国土地理院発行の数値地図25000を複製してシミュレーションに用いる地形データを作成しているため、航空レーザ測量のデータより津波高の精度が低い区域があります。
- 今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

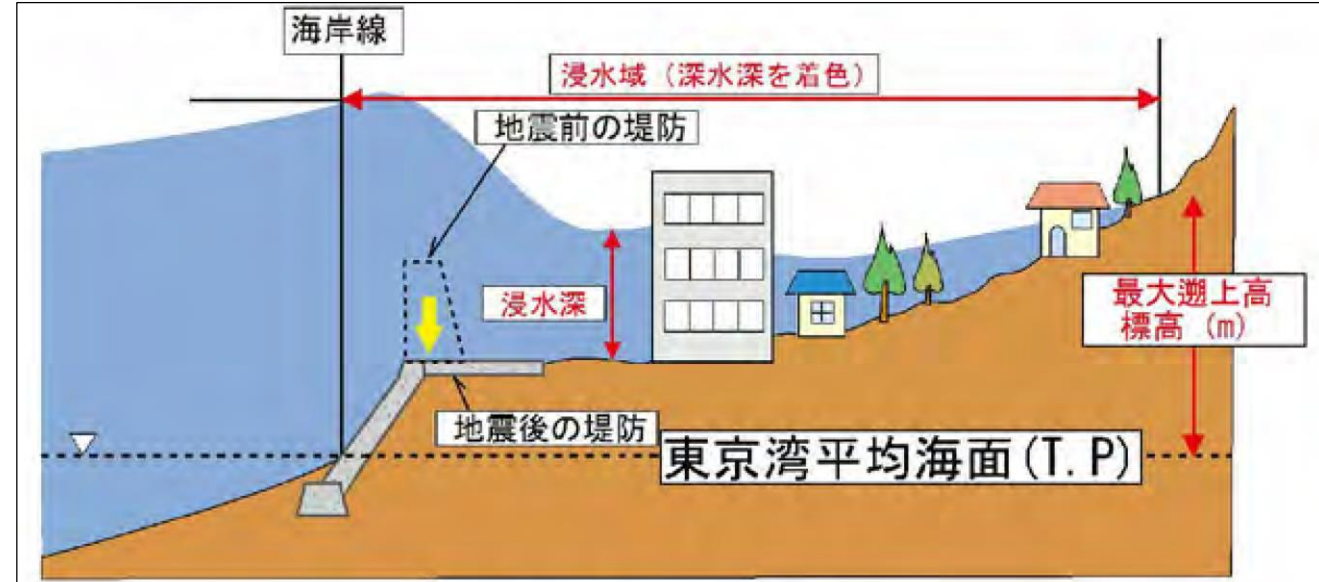
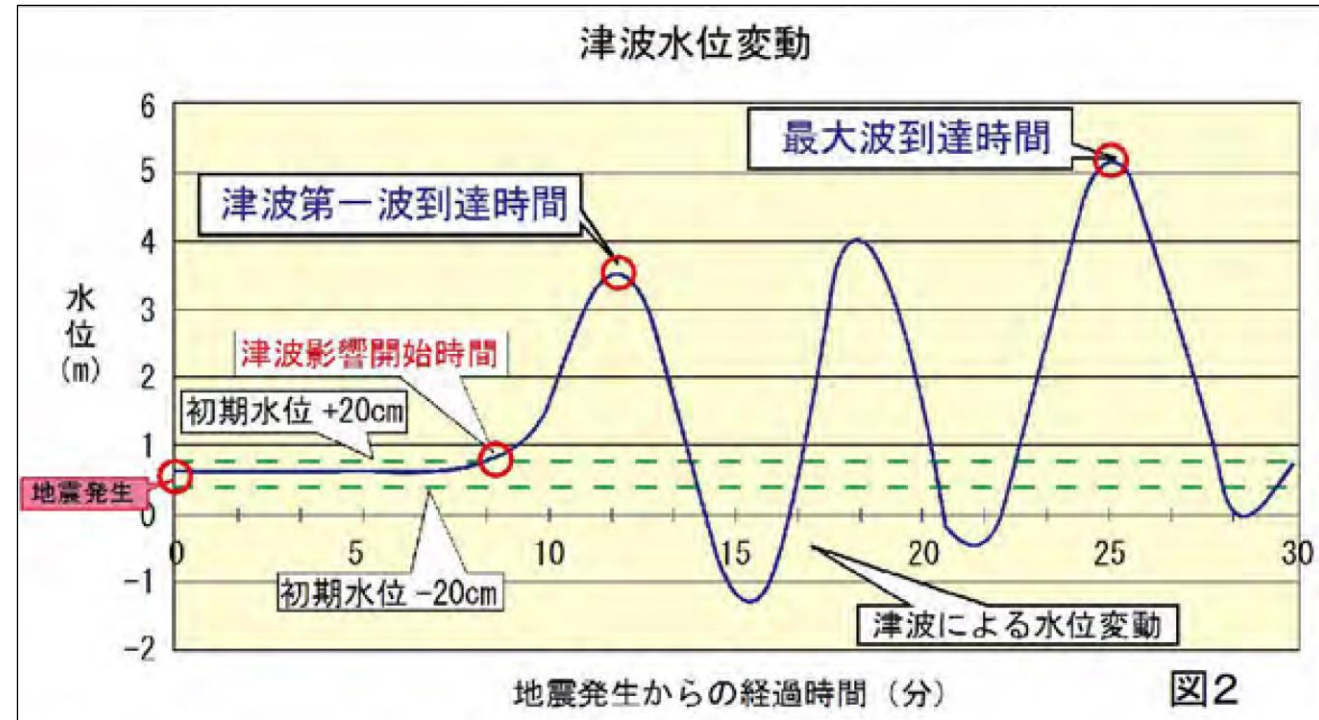


図1 最大遡上高と浸水深



※注1 最大遡上高と浸水深（図1参照）  
 最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高です。  
 浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。  
 浸水域は、海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域です。

※注2 津波影響開始時間と津波到達時間（図2参照）  
 津波影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化（初期水位から水位変化が±20cm）が生じるまでの時間です。  
 津波第一波到達時間は、海岸線において第一波の最大到達高さが生じるまでの時間です。  
 なお、最大波は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

**凡例**

- 🏠 避難場所兼避難所(津波)
- 🏠 避難場所(津波)
- 🏠 避難所(津波)
- 指定避難所(その他)

**浸水深**

- 🟡 50cm未満
- 🟠 0.5m～3.0m
- 🔴 3.0m～5.0m
- 🟠 5.0m～10.0m
- 町字界線

避難場所：切迫した災害の危険から逃れるための場所  
 避難所：必要な期間滞在し、避難生活を送るための施設

●代表地点周辺で予測される最大遡上高  
 ・津波影響開始時間

※図2参照  
 ±0.2m：津波影響開始時間  
 第1波：津波第1波到達時間

地点名			
No	最大遡上高(m)	±0.2m	第1波
想定地震	〇.〇〇m	〇〇分	〇〇分
想定地震	〇.〇〇m	〇〇分	〇〇分
想定地震	〇.〇〇m	〇〇分	〇〇分